

授業科目	公衆衛生看護学実習				単位	5		
履 修	選択	関連資格	保健師		ナンバリング	NU31709J		
開講年次	4	開講時期	通年	該当DP	DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	布花原 明子、伊藤 直子、鹿毛 美香							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>本実習は、行政領域の保健師活動を通して、地域で生活する個人・家族及び集団が、より豊かな人生を実現するために、社会の変化をとらえながら、行政・企業において保健師活動経験を有する実務者教員の指導の下、公衆衛生看護の展開を学ぶ。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予防的視点から地域の健康課題を明らかにできる。 2. 地域の健康課題に対する公衆衛生看護活動計画を説明できる。 3. 地域の健康課題の解決に向けて、地域住民、関係者及び関係機関と協働して、公衆衛生看護活動を展開できる。 4. 健康危機管理における組織的な管理体制を理解し、地域ケアシステム構築の必要性を説明できる。 5. 公衆衛生看護管理の機能を説明できる。 6. 行政領域での倫理的な問題と対応の実際を理解し、自らも倫理的に行動できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	40	0	0	60	100	その他は、実習目標の達成度を評価
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			40				40	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)						2	2	
関心・意欲 (DP3-2)						3	3	
態度(DP4-1)						5	5	
態度(DP4-2)						2	2	
態度 (DP4-3)						3	3	
技能・表現 (DP5-1)						5	5	
技能・表現 (DP5-2)						40	40	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルを全て達成した上で、保健医療福祉の知識・技術や人々の健康に関わる社会情勢を積極的に学び、保健師のあるべき姿を具体的に展望できる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 予防的視点から地域の健康課題を明らかにできる。 2. 地域の健康課題に対する公衆衛生看護活動計画を説明できる。 3. 地域の健康課題の解決に向けて、地域住民、関係者及び関係機関と協働して、公衆衛生看護活動を展開できる。 				

			4. 健康危機管理における組織的な管理体制を理解し、システム構築の必要性を説明できる。 5. 公衆衛生看護管理の機能を説明できる。 6. 行政領域での倫理的な問題と対応の実際を理解し、自らも倫理的に行動できる。	
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	実習5週間では、県型保健所・市町村グループと、政令市グループに分かれ実習を行う。 具体的な方法及び実習内容については、「2022年度公衆衛生看護学実習要項」で説明する。			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「公衆衛生看護関係科目」をはじめ、看護学領域の知識・技術を統合することが求められます。また、地域生活する人々の生活背景を理解し、多様な価値観や生き様に寄り添い、健康と生活を支援するためには、『総合人間科学』の知識も必要です。			
テキスト	特に指定なし			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生看護関係科目担当教員の指定図書 ・保健師関連雑誌 <ul style="list-style-type: none"> 保健師ジャーナル 地域保健 公衆衛生情報 保健の科学 			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>公衆衛生看護学実習では、個人・家族、集団、地域全体を対象に、公衆衛生看護の展開を実践的に習得します。</p> <p>そのため、3年次までの看護師課程臨地実習で学んだライフステージの対象特性に応じた看護を復習するとともに、地域を構成する一単位として個人・家族を捉えて、地域全体とのつながりを意識して理解を深めてください。</p>			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>将来、保健師としての活動を目指とする学生は、理想的レベルの達成を期待します。</p> <p>その他の評価は、公衆衛生看護技術項目(健康教育・家庭訪問)の達成度及び公衆衛生看護学実習への関心・意欲・態度について、実習指導者と協議し評価する。</p>			

